



2023年度 武蔵野美術大学 芸術文化学科 卒業研究・制作展 *Department of Arts Policy and Management*

武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科(主任教授:是枝開)では、学生たちの研究・制作の集大成として「卒業研究・制作展」を2024年1月12日(金)から1月15日(月)まで同大学鷹の台キャンパスにて開催します。

芸術文化学科は、芸術文化と社会をつなぐため、アートとデザインを基盤として、プランニング、マネジメント、ミュゼオロジーを軸に理論と実技の両輪を学ぶ学科です。本展覧会では、学生の4年間の研究成果を展示という形で社会に発表します。



論文



作品表現



プロジェクト

本展覧会の見どころ

- 研究成果は、論文・作品表現・プロジェクトの3つの表現形式から学生が選択し、展示します。多様な研究テーマに触れることができます。
- 展覧会の主役である芸術文化学科4年生自身が展覧会のキュレーション、トークイベント企画、受付業務などを行います。
- 芸術文化学科1年生が「卒展裏方プロジェクト」として、広報活動や記録、ポスター設置、ツアーアイベント企画など、展覧会の運営に携わっています。
- 卒業生を招き開催するトークイベントで、芸術文化学科への理解を深めることができます。
- 制作者である4年生とともに展示を巡るツアーアイベントが開催されます。

トークイベント「芸文、のち —卒業生と話す芸術文化学科のその先—」

芸術文化学科での領域横断的な学びを経て、現在活躍されている卒業生を招き、卒業制作や在学中の活動など学生時代と、現在の活動についてお話を聞きします。社会に出たからこそ見える芸文の学びを考えいくトークイベントです。

日 時：2024年1月13日(土)～14日(日) 14:00～15:00

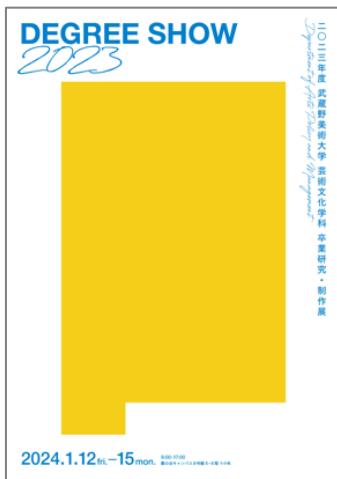
会 場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 9号館 506教室

定 員：30名(予約不要)

ゲスト：1月13日 内田咲希(2021年卒業、日本デザインセンター所属)

1月14日 冠那菜奈(2011年卒業、Tiarart.com代表)

メインビジュアル



今年のメインビジュアルのコンセプトは、「個性と思考」です。このポスターは、実際に黄色の付箋が貼られており、めくると手書き文字で一人一人の興味・関心が書かれています。芸術文化学科は学びの幅が広く、一人一人の興味・関心が異なっており研究内容も多種多様です。その「個性」に着目し、全員に手書きで研究テーマを書いてもらいました。付箋は、今まで制作・執筆してきた「思考」のプロセスを表現しています。

(メインビジュアル担当 長谷川華蓮)

卒展裏方プロジェクト

本展覧会では、「卒展裏方プロジェクト」として、広報活動や記録、ポスター設置、ツアーアイベント企画などを芸術文化学科1年生が行なっています。

芸文卒展ツアー

芸術文化学科の卒業制作を解説と共に巡るツアーです。裏方プロジェクトの1年生が進行し、作品制作者である4年生が解説します。「一点集中！コース」では1つ、「十人十色コース」では4つの作品を取り上げます。解説する作品は各回で異なります。

日 時：2024年1月13日(土)～1月15日(月)

一点集中！コース 11:30～11:40 15:00～15:10 (10分)

十人十色コース 13:00～13:45 (45分)

会 場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 9号館 5階・6階・1階ゼロスペース

集合場所：9号館 6階 エレベーターホール

定 員：各コース約10名（予約不要、途中参加・退場可能）

開催概要

名 称：武蔵野美術大学 芸術文化学科卒業研究・制作展

会 期：2024年1月12日(金)～1月15日(月)

時 間：9:00～17:00 (最終入場 16:00)

会 場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 9号館 5階・6階・共有スペース

入 場 料：無料（予約不要）

Instagram (@geibun2023_sotsuten) : https://www.instagram.com/geibun2023_sotsuten/

X/旧Twitter (@geibun2023) : <https://twitter.com/geibun2023>

お問い合わせ先

武蔵野美術大学 芸術文化学科研究室 石井有希子(広報担当)/古賀稔章(担当教員)

〒180-8505 東京都小平市小川町 1-736

Tel : 042-342-6712 Fax: 042-342-5192 Mail : apm.sotuten2023@gmail.com